

氏名	梅崎 薫	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	ソーシャルワーク、保健福祉、家族支援、修復的対話・実践(修復的正義・司法)				
学位	博士(医学) 修士(社会福祉学)				
学歴	1994年東京都立大学院社会科学研究所社会福祉学、99年富山医科薬科大学院医学系研究科環境系専攻博士課程				
経歴	2005年埼玉県立大学助教授(07年准教授)、13年埼玉県立大学教授				
所属学会(役職)	日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本公衆衛生学会、日本家族社会学会、日本社会福祉系学会連合(運営委員)				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	報告「震災後の東北三県における社会福祉士・精神保健福祉士に対する調査結果から」 災害福祉学の構築-支援者支援を考える-	単著	日本社会福祉系学会連合,全113頁 p51-74他,日本社会福祉系学会連合ホームページに掲載	日本社会福祉系学会連合	2015年10月
2	新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度 第4版	共著	中央法規出版、452ページ 第14章第1節認知症ケア 398-424	社会福祉士養成講座編集委員会編集	2015年2月
(2) 論文					
1	「修復的司法/正義(Restorative Justice)」とその実践[4] RJで高齢者虐待を予防する公私連携の地域づくり	単著	ソーシャルワーク研究, 全88頁 p61-67	編集委員長:牧里每治	2016年1月
(3) 学会発表					
1	問題解決から関係修復へのパラダイムシフト—高齢者と家族支援における修復的正義アプローチの試み—	共著	日本社会福祉士学会, 金沢市	○梅崎薫、松永梢・花木美穂子他	平成27年6月
2	カナダにおける高齢者虐待の予防ケースアセスメントと連携パス—高齢者虐待レスポンスチームとボランティアの連携—	単著	日本高齢者虐待防止学会, 京都市, ノートルダム女子大学	○梅崎薫	平成27年7月
3	被災地におけるソーシャルワーカーの二次的外傷性ストレスと関連要因—二次的外傷性ストレスに気づくために—	共著	日本精神保健福祉士学会学術集会, 福島,	○佃志津子、橋本美幸,梅崎薫	平成27年5月
4	被災地におけるソーシャルワーカーの現状とスーパービジョン~ソーシャルワーカーの燃え尽きを防ぐために~	共著	日本精神保健福祉士学会学術集会, 福島,	○梅崎薫、佃志津子、橋本美幸	平成27年10月
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	2015年度 埼玉県立大学学内奨励研究費助成	「修復的対話で高齢者虐待を予防するカナダの取り組みから—日本への導入方法の検討—」研究代表者			2015.4~2016.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	ソーシャルワーク論Ⅲ	2015.4~2015.8	SW実習Ⅰ修了後に、実習Ⅱにむけて、理論と演習・実習を統合できるよう各担当教員と連携して授業計画を組み立てた。		
2	高齢保健福祉論	2015.10~2016.3	成年後見制度、解決志向アプローチ、高齢者虐待の未然防止として修復的実践(RJ)トーキングサークルを演習を組み込み講義した。		

3	医療経営論	2015.4～2015.8	起業する力を養うために経営の基礎学習と、ゲストスピーカーによるマネジメント、財務会計、マーケティング、経営理念を組み合わせた。
(2) 演習			
1	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2015.4～2015.8	SW実習Ⅰにむけて、児童福祉、司法福祉、高齢福祉などを視野に、理論と演習を統合できるよう各担当教員と授業計画を立て実施した。
2	社会福祉専門演習Ⅱ	2015.10～2016.3	高齢者と家族に関する基礎的な文献を読み、学生の個別関心に添い先行研究から報告、考察を深め卒業研究の関心を明確化した。
3	社会福祉専門演習Ⅲ	2015.4～2015.8	卒業研究を視野に入れ個々の研究関心に添い先行研究を探索。既存統計からの分析結果を報告。質疑応答により考察し焦点化した。
4	社会福祉専門演習Ⅳ	2015.10～2016.3	卒業研究として論文化する内容を報告し議論して、相互理解を深め、学生間における疑問を深めて、さらに必要な文献や知見を追加した。
(3) 実習			
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2015.10～2016.3	施設実習において、対象者理解、信頼関係の形成、実習後の考察に必要な情報を理解できるように指導した。
2	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2016.2～2016.3	巡回指導では実習指導者との関係形成等を確認し、帰校指導では異なる施設における共通性、ジェネラリストソーシャルワークの理解を促した。
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2015.4～2015.6	実習Ⅰで体験した内容を理論的に考察して、理論と実践を統合化できるように促し、指導した。
4	IPW実習	2015.6～2015.10	看護学科、作業療法学科、健康開発学科口腔衛生専修、社会福祉学科、4名の学生を担当した。
(4) 論文指導			
1	学士論文指導	2015.4～2015.11	主指導：5名
2	修士論文指導	2015.4～2016.3	副指導：1名

(5)その他			
1	修復的対話による実践	2015.4～2016.3	高齢者デイサービス 女性のための対話の会 越谷対話の会
4. 社会貢献活動			
(1)講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	越谷市市民わくわくシンポジウム2015	越谷市市民活動支援センター	お互いを尊重する対話とは…異なる意見を感情的にならず 折り合いをつけていくために
2	社会福祉士実習指導者講習	埼玉県立大学	実習スーパービジョン
3	認知症高齢者へのソーシャルワーク支援	日本医療社会福祉協会	研修コーディネーター
4	災害ソーシャルワーク研修	日本社会福祉士会	災害支援者が受ける影響 ー被災者心理の基礎的理解ー
5	災害ソーシャルワーク研修	日本医療社会福祉協会	災害支援者が受ける影響
6	修復的対話(RJ)研修キーパー養成講座	RJ実践研究会	越谷(前期後期)・春日部(前期)
7	児童福祉司任用資格認定講習会	埼玉県	
8	生活困窮者支援のための研修	埼玉県	修復的対話(RJ)を用いたシナリオ・ロールプレイ
9	アスポート相談支援研修	埼玉県社会福祉士会	対象者理解 修復的対話(RJ)のロールプレイ
(2)国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市	越谷市成年後見センタ運営委員	2015.4～2016.3
2	越谷市	越谷市障害者地域自立支援協議会委員	2015.4～2016.3
3	埼玉県	埼玉県大規模小売店舗立地審議会委員	2015.4～2016.3
4	三郷市	三郷市介護認定審査会委員	2015.4～2016.3
5	八潮市	八潮市防災会議委員	2015.4～2016.3
6	公益社団法人 日本医療社会福祉協会	理事	2015.4～2016.3
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	大学院教務委員会		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		